

こんにちは ふるいち順子です

※私からのお願い※ このニュースをお読みいただくことが大きな支えになります。ぜひ、読んでいただける方をご紹介ください。

発行 古市順子 真田町本原(竹室) 2543-3 ☎/FAX 72-3261 メール: huruitij@ued.janis.or.jp ホームページ http://www.ued.or.jp/~huruitij/

NO. 201 2023年1月号

新しい年が始まりました。昨年もいろいろとお世話になり、ありがとうございました。今年もよろしくお願ひします。

今年は3/31告示、4/9投票で、県議会議員選挙が行われます。現在定数4名に対し、前上田市議、現上田市議を含め5名が立候補を表明しています。日本共産党は高村京子県議が立候補を予定しています。12月から全戸に「市民アンケート」を配布して、返信をお願いしています。お手元にアンケート用紙がありましたら、お送りください。

12月上田市議会定例会は、12/19閉会しました。今回は武石の雲渓荘の指定管理に関する議案が否決されましたが、日本共産党は久保田議員が賛成討論を行いました。12/6に行った私の学校給食と地域公共交通に関する一般質問の内容は裏面に記載しました。

12/23に行われた第3回「上田市学校給食運営審議会」では、答申内容を審議されていましたが、私の質問内容が答申案にも反映された形で、説明もされていました。また、市内同一単価にするという答申案は、審議会の初めから十分な説明がないということで、削除されることとなりました。

12/14には「上小・東御生活と健康を守る会」と上田市の懇談会が行われました。市から回答書も送付されます。また、12/18には上田市福祉課長、社協上田地区センター長も出席されて「餅を食べる会」も行われました。(1/4)



畑の隅の雪の下に万年青(おもと)が赤い実をつけていました。(1/4)



元旦正午から今年も駅前宣伝を行いました。大軍拡に反対し、憲法を守り、生かす政治をという声を大きく...と訴えました。高村県議、渡辺地区委員長と



12月16日、国道144号湯の平橋工区開通式が行われました。交通事故も多かつた箇所、大型車も安全通行できると期待されています。

12月14日、上小・東御生活と健康を守る会と上田市の懇談会。事前提出の要望書によって、担当課長が出席されます。会長代行として、あいさつしました。



12/23「第3回上田市学校給食運営審議会」傍聴記
令和5年4月1日以降適用分の学校給食費について
(答申)案が審議されました。

○答申案に「本審議会は、令和5年4月1日以降の学校給食費の保護者負担を審議するものではなく、適正な給食費の額を審議するものである。」とされ、「保護者負担は自治体によって違う。上田市では食材費は、受益者負担という一般的な考え方でやってきた。」と説明がありました。

○「どこで保護者負担を決めるのか？」という質問が出され、「教育委員で構成する教育委員会で決定する。」という答弁でした。

○意見として3項目が記載されています。

- ① 国・県からの学校給食費に対する支援があれば、積極的な活用を図ること。
- ② 物価高騰が続いているが、質や量、栄養バランスを確保した学校給食の提供に努めること。
- ③ 上田市の学校給食が食の安全を代表する「シンボリック的存在」になるよう努め、広報うえだや市のホームページを通じて上田市の食育を掲載するなど、上田市独自の良さを情報発信していくこと。

* 複数の審議委員から、「①に上田市の支援も入れてほしい。」という要望が出されました。

* 私以外にも、4、5名の方が傍聴されていて、関心の高さを感じました。

12月議会一般質問と答弁（ふるいち順子）

問学校給食法によると給食の食材費は保護者負担とされているが、負担割合については取り決めがなく自治体裁量となっているが、食材費の負担割合に対する考えはどうか。

答当市のこれまでの給食費の考え方は、長年にわたり食費は一般的には個人の負担に期すべきものであるものとし、基本的には受益者である保護者に負担を求めるという考えで運営してきた。

問今年度は6月補正予算において、新型コロナ対応地方創生臨時交付金を活用し、学校給食等の保護者負担の軽減を図った。今年度の交付金活用予定額、来年度への繰越額の見込、来年度の活用の見通しはどうか。

答今年度の交付金活用予定額は、現在 17 億 3,175 万 3,000 円。繰り越しの可否についてまだ国から方針が示されていないので、上限額の全てを今年度の事業に充当すべく計画している。しかしまだ感染症収束の兆しが見えない状況の中、来年度も有効な取組が継続できるよう、引き続き国の動向を注視してまいりたい。

問教育長は、第1回学校給食運営審議会で、来年度の新型コロナ対応地方創生臨時交付金額が不確定であることから、給食費の引上げについて諮問したいと述べた。給食費については、保護者負担軽減の検討を行い、引上げは行うべきではないと考えるが、市長の見解はどうか。

答令和5年度からの学校給食費は、現在上田市学校給食運営審議会で審議中の案件です。答申を私としても最大限尊重すべきであり、その後教育委員会からの報告と協議を踏まえ、答申の実施に関し必要な対応については、今後検討してまいりたい。

問地域公共交通計画の策定に当たり、地域協議会、住民自治組織との懇談が行なわれたが、主な内容はどうか。

答高校生や高齢者をはじめとした移動制約者にとって使いやすい交通体系になっていないこと。利用者を増やすためには運行日やダイヤの見直しが必要であること。地域特性や利用者のニーズに対応した運行形態や交通手段のネットワーク構築の検討が必要であること。車利用から公共交通利用へ転換を進めるためには、ポイント付与や運賃割引のインセンティブ、何らかの動機づけが必要であることなどのご意見をいただいた。

問令和3年9月定例会では、地域公共交通計画の策定に当たり、真田地域のふれあいバスの運行・所管について検討を進めていくと答弁があったが、検討状況はどうか。

答ふれあいバスについては、真田地域にとって大変重要かつ貴重な輸送手段、輸送資源であると認識しているが、現時点では運行形態や所管に関する踏み込んだ検討には至っていない。各地域内交通において様々な課題がある中で、路線バスも含めて将来にわたり持続可能な公共交通の維持確保を図ることが重要で、まずは地域公共交通計画の策定に注力するとともに、ふれあいバスについては最も効果的な事業形態、事業体制となるよう、引き続き研究していく。

問住民組織による地域内交通に関する取組は、計画段階から市が関わること、法令遵守や安全面から交通業者へ委託すること、市が財政的支援を行うことが重要である。全市で通用する制度設計を早急に進める必要があると考えるが、見解はどうか。

答行政負担の軽減を図るため住民組織の担い手による移動サービスの必要性が高いものと認識している。今後も引き続き交通事業者と住民組織による移動手段との役割分担や将来への持続可能性を考慮しつつ、まちづくりや高齢者の移動支援の視点による部局横断的な連携を図る中で、市としての支援の在り方を検討していく。

前号からの活動報告

- 12/17 ふるいちブロックスタンディング宣伝
- 12/18 「餅を食べる会」
上小東御生活と健康を守る会総会
竹室区認定会、代議員会
- 12/19 上田駅前宣伝 上田市議会12月定例会閉会日
- 12/23 高村県議とあいさつ回り
第3回上田市学校給食運営審議会傍聴
- 12/24 東信医療生協年末マルシェ
- 1 / 1 上田駅前新年の宣伝
- 1 / 2 竹室区定期総会
- 1 / 3 竹室農業振興組合総会

これからの予定（1/4 現在）

- 1 / 6 日本共産党長野県党旗開き
- 1 / 10 上田市議会会派代表者会
- 1 / 14 ふるいちブロックスタンディング宣伝
- 1 / 15 上田市消防団本原分団出初式

我が家の庭だより

今年は何行動制限のない年末年始でしたが、いかがお過ごしでしたか。我が家は例年のごとく、孫娘達たちがおせちづくりに来てくれて、助かりました。花豆はいつも早めに煮るので、時間をかけて戻し、ストーブの上で、じっくり煮ました。思ったより大きくふくらんできました。この辺りでは、今年の花豆はあまりいい出来ではないと聞いていますが、我が家では植え付けも少し増やしたせいか、結構収穫できました。

大晦日の紅白歌合戦は、知らないグループばかりだね。」と途中でリタイア。元旦はいつものとおり、お雑煮で新年を祝い、お年玉も渡して、各々今年の抱負を発表し、記念撮影。

竹室神社へ初詣に、1歳の孫も歩いて行きました。

